

ごとう通信

第 145 号

平成 25 年 1 月 1 日

皆さん、明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひいたします。

それにしても最近はあまり正月っぽくなくなつてしまひましたね。門松やしめ飾り、国旗も見かけなくなりましたし、百貨店が正月休みということもなくなりました。何となく普通に冬休みという気がしてしまひます。

さて、今年は何年ですか。



二五年。もう平成になつてから四半世紀も経つのかあ…とかなりオヤジくさくさ思つてしまひます。平成元年になつたとき、僕は大学四年生。体育会の会長という役職でしたので、学ラン(学生服)を着て飯田橋あたりを肩で風切つて歩いてました(上写真、右端)。その体育会の大切な行事でもある鏡開きが、昭和天皇のご崩御によつて中止になつたことは記憶に残つています。そんな若い日のことはともかく、昨年は多くの肉體変化を感じた年になつちやいました。何と言つても老眼! まあ不自由なこと! 近視だけであればメガネの度数を変えることで何とでもできたのですが、老眼はそんなわけにいきません。最近は何もを見るときにはメガネを外し、それでも見にくい時は…外すものが

ない。

他にも妙に疲れが残つたり、抜け毛が多くなつたり、計算できなくなつたり、人の名前が思い出せなくなつたり、立つたまま何をするのか忘れたり…

どの症状も人生の先輩たちから嫌というほど聞かされた話。その割にわが身に降りかかるなんて思つてもいませんでしたけど。今年は少しでも症状が進行しないように精進しましょうか。

常識?

先日、「別の歯医者さんに歯の磨き過ぎで歯が削れていると言われまして」という方がいました。正直ため息がふつって感じですが。しかも、かわい